

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ミライクふくやま川口教室		2025年 2月 27日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準を守り、様々な活動に対応できるように空間を作っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		活動内容に応じて、職員の配置を増やす等対応しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		移動式スロープの設置等柔軟に対応できるようにしております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		休息空間や、水回り等、区域を分け清潔に過ごせるように配慮しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個々の活動が出来るスペースを確保し、必要に応じて、個室の活用もできるようにしております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的にミーティングを開催し、見直しと改善に努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ヒアリングを行い療育活動等に反映しております。	評価表で頂いたご意見を真摯に受け止め、日々の業務改善に繋げてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングを開催し、見直しと改善に努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在第三者評価は請けいて いないが今後検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		様々な研修に参加し、専門的な知識や正しい情報を学ぶ機会を設けております。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ等で公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		面談や相談支援事業所との情報共有を基に計画を立てております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援担当者会を開催し、関係する職員が参加のもと、児童の課題や家族のニーズに合わせた計画書の作成を行っております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		日々のミーティングにて支援内容の共有と実施後の振り返りを行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントシートの活用を行っております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		それぞれの支援を踏まえながら、検討しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		在籍する職員で話し合って立案しております。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		保護者の意見も取り入れながら活動内容の決定を行っております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		一人ひとりの状況に合わせて、内容を選択して活動できるようにしております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日々のミーティングにて、情報共有を行い、業務を分担して運営を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		提供支援内容の振り返りと、改善についてその都度意見交換を行い、支援に反映しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個々の状況や、支援内容の記録をもとに、次の支援内容の検討を行っております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者からのヒアリングや、支援状況を踏まえ、適宜見直しを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		バランスよく活動できるように心掛けております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		複数の活動内容を提案し、自身の意思で活動内容を決定できるように準備しております。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加させていただいています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談支援事業所や学校等と連携を取り、支援出来る体制を作っております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者と学校と事業所間で連携を取り、サービス提供をしております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて、相談支援事業所等を介して情報の共有をしております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		サービス担当者会議や関係機関との会議にて情報提供を行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			より多くの助言、研修を受ける機会を設けスキル向上を図っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		サービス提供時間と、地域の交流可能時間が異なる為、今後、一致した時にはともに活動出来る様に検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		出席可能な限り参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時等を活用し、日々の活動の様子等は共有し、支援の方針を話しあっています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			各家庭の都合により、参加機会は異なるので、開催回数を増やす等、参加しやすいように改善してまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		面談時等に確認できるように、所内に設置しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談を定期的に行い、家庭や児童の意向を確認する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		書面を提示し、説明確認を行い同意の署名をいただいています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		電話や対面等、ニーズに合わせて相談できる窓口を設けて、支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会は、今後要望があれば、検討をして開催していきます。きょうだい同士で交流する機会はイベント等を設けて行っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		窓口を設け、各要望等には対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPやSNSを利用し、情報提供等を行っております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員間でも共通の認識を持ち、取り扱いに十分注意しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用児童に応じたサービス提供を常時行っております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現在、交流出来る先がない事と、防犯に配慮して実施しておりません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		全てのマニュアルを策定し、非常時の対応が取れる様に訓練も定期的の実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、訓練や研修等も適宜行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に既往歴は確認し、経過の情報共有も行っております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医療機関提供の指示書に基づき、個々に対応をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		マニュアルを作成し、非常時対応の訓練も定期的に行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難訓練実施報告や、避難経路、場所等の周知を定期的に行っております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		情報を記録として残し、再発防止につとめております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修会に定期的に参加し、共通意識をもって療育の提供を行っております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在までに身体拘束を行ったことはありません。身体拘束適正化のための指針を作成し、職員研修も行っております。	

事業所名	ミライクふくやま川口教室
------	--------------

公表日 2025年 2月27日

利用児童数 64

回収数

32

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	3			空間も区切っており、子どもたちが過ごすには十分なスペースがあると思う。	今後も活動に合わせて安全に利用できるように配慮していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	4			いつも安定した職員の数で安心して関わることが出来ています。	適正な人員を配置し、利用児童に合わせた支援を提供しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	12	1	1	ワンフロアで見渡せるようになっていて、段差等もスロープが設定されている。	今後も安全に配慮し、スロープの活用を行い、バリアフリーを維持していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	29	3			活動の目的ごとにスペースが分かれていて各々の活動がしやすいようになっている。	衛生面に配慮しながら、事業所運営を心がけて行っていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	2			専門的な知識や経験のもとアドバイスをしてもらっている。	今後もこどもの特性に応じた支援の提供を心がけて行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	1			支援内容を確認した上で通所しているの で公表と相違ないです。	支援プログラムを分かりやすく提示し、安心してご利用いただけるように工夫を してまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	2			その時の発達や課題に合った具体的な計画を作成してくれていると思います。	今後も一人ひとりの発達を踏まえたうえで、家庭とも連携をしながら個別支援計画の作成を行っていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	4			家庭の要望、こどもの実態に合わせて、面談等で意見を聞いてもらって反映された計画内容だと思います。	個々の実態等の把握に努め、各機関とも連携を図り、ＱＯＬ向上につながるよう に支援内容を策定し、サービス提供を行 っていきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30			2	送迎時等で日々の活動の様子等を共有してもらい、適正な支援をしてもらっていると思います。	今後も、保護者とともに日々の活動を振り返りながら、計画に沿った支援提供の 充実に努めます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	2			イベント等の開催も多く、通常の活動と合わせて、どちらもこどもは、楽しく参加できている。	日ごとにプログラムを変えており、外出プログラムも取り入れています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	16	5	2	学校での活動で十分だと思う。地域の子どもと過ごすくらいで事業所の利用をしている為その他の交流は必要ない。	ニーズに合わせた療育内容を検討し、青葉台教室等とイベントを通して交流の機会を設けていきたいと思っています。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	1		1	契約時や、面談の際に説明を受けています。	今後も分かりやすく、説明していく事を心がけてまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	1		1	モニタリングの際や、送迎時にその都度説明をしてもらっています。	今後も分かりやすく、説明していく事を心がけてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29	2		1	SNS等で情報の発信がこまめにある。イベント等で家族も参加できる機会がある。	イベント等を通して、家族支援の機会を設け、家庭と共に総合的な支援を行える 様にしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29	3			体調に合わせた活動の提案等をしてもらっています。	保護者や子どもの状況に合わせ、可能な限り情報共有できるように心がけています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	3			モニタリングや面談、送迎の時に先生とお話する機会を設けてもらっています。	保護者からの相談があれば、家庭訪問や事業所内での対応を随時行っております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	2			どの先生にも、子育てや発達について色々な相談に乗ってもらえるので助かります。	今後も安心して信頼していただけるよう努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	20	7		必要性を感じないのでなくても良い。今のままで、イベント時の交流等で、十分です。きょうだい児も参加出来るイベントが開催されるので参加しやすい。	家族参加のイベントは定期開催を行っておりますが、その他要等があれば検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	6			外部の相談機関等の紹介もしていただき、幅広い支援の提案もしてくれる。	重要事項説明書に明記し、契約時に説明をさせていたいただきます。引き続き、丁寧に対応します。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	1			必要に応じてSNSも使いながら情報の提供をしてもらう事が出来ている。	今後も意思疎通や情報伝達ができるように配慮します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29	3			定期的に活動の様子などがホームページに掲載されている。LINEでの問い合わせも迅速に返してもらっている。	ホームページで活動の様子を発信したり、所内掲示、SNS等を通じて今後もお知らせしてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	2			十分対応されている。特に気になった事はない。	今後も取り扱いには十分留意し、定期的に、職員研修等も実施してまいります。
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	8	1		説明は受けている。マニュアルは掲示されているがゆっくり見た事はない。訓練の話はこどもから聞いている。	今後も周知いただけるように取り組みます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	10			連絡帳等で訓練実施の報告は貰っている。利用日ではなく参加できなかった。	安全計画を策定し、研修・訓練・点検を定期的に実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	2		1	定期的に防災教室等があり、安全面への配慮はされていると思います。	職員の役割や子どもの特性の確認し、様々な状況を想定した訓練の実施に努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	2			些細な事で連絡をいただき、安心して通わせる事が出来ています。	速やかに家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じます。
満足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	32				先生とも信頼関係を築いて楽しく通所で きています。	今後も各家庭とこどもの成長発達等の連携を行い、信頼関係を築きながら、サービス提供を行ってまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	32				毎週楽しみにして、通所しています。通う日を楽しみに生活をしています。	ニーズに合わせた療育内容を検討し、楽しく通所できる環境を今後も職員一同作ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	32				活動の種類も豊富で、親子共々満足しています。先生方ともしっかり関係が築けて満足しています。	今後も活動内容の充実を図りながら、発達に応じた支援の提供を行ってまいります。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ミライクふくやま川口教室		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 10日 ～ 2025年 1月 18日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日 ～ 2025年 1月 21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	IT療育を通じて「楽しい」から「できた!」、「できた」から「できるからもっと楽しい!!」の体験を大切にしている。	日ごとに課題内容を変え個別にカリキュラムの作成を行う。	専用アプリを活用し、視覚認知機能向上を目指す。スクラッチなどビジュアルプログラミングを通じて論理的思考を育むプログラムを実施し、発達の支援おこなう。
2	生活やコミュニケーションに必要なスキルを集団活動を通じて学び、様々な経験をすることで社会性を育んでいく。	プログラミング作品作りを通じて自分の考えを伝え、他者と肯定的な関わり持てる機会を提供する。 集団、小集団活動に参加できる機会を設ける。	プログラミング作品作りを通じて自分の考えを伝え、他者と肯定的な関わり持てる機会を提供する。野外活動などを通じて集団での適切行動への対応や、周囲の情報から必要な情報を取得し、行動に繋げられるよう支援する。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎利用希望に関して	送迎範囲と車両数に限りがある	今後も安全を最優先に、人員や増車の検討
2	新規利用者の受け入れ	長期利用を希望の利用者が多く、新規の定員の枠が空にくい	見学体験を行ってもらい、可能な場合、不定期の利用を行っている
3	地域との交流や他児童との関わり合いがない	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない	町内会への加入や地域の公共施設などの利用はあるが、今後どのような交流の機会を持てるか、検討の必要がある